

栃木県看護連盟



今こそ集団の力を！

自治医科大学附属病院

飯田 久子

厚生労働省の統計からみると、就業している看護師数は、右肩上がりに増加しています。しかし、現場においては、人が増えて以前より余裕が持てたという実感はあまりありません。その理由としては、医療制度の変化や医療の高度化、複雑化、また高齢化に伴い、療養上の世話や診療の補助において、知識と技術のみならず、労力や時間がより必要とされている状況があるからだと感じています。看護師はよくまじめな集団だと言われます。個々に努力をして、自身の看護力を磨いています。しかし、働く環境に関しては、個人の努力

や組織単位の努力のみでは、解決できない問題が多重にあります。「ベッドサイドから政治を変える」自分たちの声が社会に届き、看護師の働く環境の改善により、看護師が生き生きと70歳すぎまで働くことができれば、看護が豊かに行われる社会が現実になると確信していますし、そんな社会になって欲しいと思います。私たちの声を社会に届けてくれる石田さんに、国政の場でご活躍いただけるよう誠心誠意応援していきたいと思います。



石田まさひろ氏インプレッション

石田まさひろ氏の政策研修会を終えての感想

石田まさひろ氏の印象

- わかりやすく現場の声を聞いてもらえる。
- さわやか
- 明るくて元気
- 好印象
- 力強さ
- 良い男だった。
- まじめな人
- 感じのいい人
- たくましい



感想

- 話がわかりやすかった。
- 看護師の働き方のアイデアをもらった。
- 応援しやすい(EXILE良かった。)
- いい人 頑張って、投票します。
- 働くための話をもう少し聞きたかった。
- 看護の問題などの話から看護の力をもらった。
- わかりやすく、受け止めやすかった。
- 質問の回答もわかりやすかった。
- 看護師にはうけるが、一般の人にはどうか。
- いろいろと考えてくれているので感動した。
- マニフェストが分かりやすく、身近に感じた。



政策

- 学童保育の充実
- 外来看護師の定数一在宅支援への充実
- 男性看護師が自由に働けるように
- 男性看護師が意見を言えるように
- 男性看護師の地位向上
- 現実を改善する。
- 給与改善
- 夜勤対策を早急にしてほしい。

